

2019年2月26日

各位

株式会社八十二銀行

業務可視化による業務効率化の実証実験開始について

八十二銀行（頭取 湯本 昭一）は、株式会社 MeeCap（代表取締役社長 山田 輝明）のパソコン操作内容可視化ソフト「MeeCap®（ミーキャップ）」を活用した実証実験を開始します。

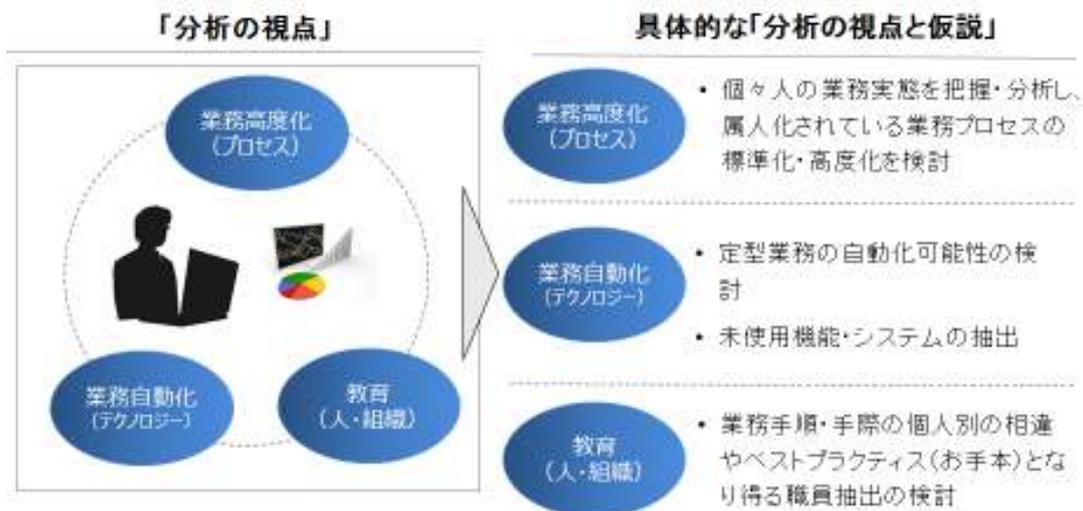
「MeeCap®」は、パソコン操作などのビッグデータを収集し、生産性の低下、業務分担の偏りなどの課題を抽出・可視化することで、非効率な業務の改善を AI 技術の活用により支援するソリューションです。

当行は、第 31 次長期経営計画のテーマに掲げる「“営業推進態勢・業務プロセス” の変革」を進めてまいります。

以下に概要をお知らせいたします。

【実証実験の概要】

期 間	2019年3月1日（金）～2020年2月28日（金）（予定）
対 象 部 門	システム開発部門
対 象 業 務	各担当者のパソコンによる操作全般
目的・狙い	<ul style="list-style-type: none">「MeeCap®」による定量データ分析に基づき、システム開発業務における非効率業務の選別・業務効率化につなげる「MeeCap®」による各担当者の行動ログデータの分析結果を踏まえ、組織全員でのスキル・ノウハウの共有を促進し、チームの生産性向上を図る



以上